



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫

2月の大雪から一面は桃源郷の季節、明るく・元気に新年度を送ることを願っています。

3月定例
議会報告

新図書館建設中止、振り出しへ
新市長の政策的予算は6月議会に

雪害対策を含む平成26年度予算 骨格として189億2百万円余を可決



山梨市議会議員
古屋まさお

2月に執行された市長選後初めての定例議会が3月3日から3月27日まで行われた。本議会では条例関係10件、予算関係23件、人事関係6件、その他3件等が提案された。平成26年度予算は市長選と予算編成時期が重なったことから骨格予算が提案、政策的な予算等は計上はしなかった。市長所信表明では①道路を中心としたインフラ整備②地域活性化③子育て・教育・高齢者福祉等充実④新図書館建設見直し——の基本的な考えを述べるに止まった。また、市政全般にわたる代表・一般質問は新市長の市政運営に向けた姿勢および雪害対策、新図書館建設見直し、子育て等の事業課題等を質す質問が多く出された。

最終日には一般、特別会計予算、条例一部改正等を賛成多数で可決し、副市長に「小林孝」（前総務課長）、教育委員に「廣瀬孝子」さん（牧丘町倉科）等の人事案件に同意、選出した。

※本紙では主要点について情報提供をさせていただきます。なお記事は古屋まさお市議のメモであることから適切な表現、言葉足らずのところがありますがご容赦願います。

大雪被害に対する 「意見書」を国、県に提出

2月14日から翌日にかけて降った大雪は、これまでの観測記録の2倍を超える観測史上最大積雪を記録し道路の通行不能や鉄道の運転中止で交通機能は途絶し、市内各所で孤立世帯、車の立ち往生による孤立者が発生した。

特に農業用ビニールハウスおよびブドウ棚の倒壊や、これに伴う果樹の枝折れ等の農業被害など市民生活はもとより、市の基幹産業である果樹農業を始めとする地域経済に莫大な影響が発生し、その対策には多額の費用を要しており、今後も莫大な費用負担が見込まれることから、①国および県に対し特段の財政措置を求める②農業従事者の高齢化が進行している状況を勘案し、今後も意欲を持って農業を続けられるための支援策を講じること③安全かつ円滑な道路交通を確保するため国道や県道の降雪対策を進める——とともに降雪時には円滑な措置を講ずることを求める「意見書」を議会初日

(3日)に全議員提出案件として古屋まさお(副議長)が提案し議決、関係省庁、知事へ送付した。



↑ 提案理由を提起する古屋雅夫・副議長

平成26年度一般会計予算(骨格)

■平成26年度一般会計予算(骨格) 189億2百万円余
(うち雪害対策、緊急追加予算 2億8800万円余)

■一般会計予算は人件費・扶助費・公債費等の義務的経費および野背坂線改良費など継続事業経費等の骨格予算を賛成多数で可決した。特に市民生活に直接影響がある「消費税8%」値上げに伴う、各施設の使用料及び上、下水道料金等の一部

改定する条例が賛成多数で可決し、市民への周知をしっかりと行なうよう提言した。なお、望月新市長が考える「政策的事業経費」を含む補正予算は6月議会に提案される見通し。

【雪害追加予算】

■2月14日～15日大雪被害対策としてハウス撤去等農業振興費2億800万円余、重機等の経費・土木費4600万円余（地域で重機提供の方への謝礼的予算300万円）、教育施設修繕の管理費2100万円余を3月13日に可決した。

役割を終えた「山梨市土地開発公社」 の土地を買い戻す

土地価格が上昇傾向のときに事業用地、代替地を先行所得し、市の各種事業に供する役割を担ってきた「山梨市土地開発公社」は役割を終えたことから、保有する土地12筆・9ヶ所「総面積約5223㎡、平成25年度末簿価約4億920万円」を買い戻すための条例に基づき予算を議決した。なお山梨市土地開発公社は借入金の精算を行ったうえで平成26年度中に解散する予定。

3月議会で明らかにした主な事業内容

■新図書館建設中止、見直しへ

市役所庁舎を含む既存公共施設に新図書館の建設を目指す

▼新市長の誕生により議会が決めてきたことが一挙に覆された。地方自治体は首長と議会の二代表制の元で成り立っている。新図書館建設（旧庁舎跡地）は望月市政誕生に貢献した先の議員の皆さんの賛成多数で議決された事業である（平成24年3月議会）。市民にどう説明してよいか、先輩方の苦衷を際して、余りあるものがある。また、選挙中の公開討論会を含め、選挙の争点として市民に問うこともなく変更した理由と見直す図書館構想とは。

【議会答弁・市長見解】

◆見直しの理由、①財政が今後厳しくなること、②多額の維持管理費がかかること、③選挙を通じ多額の費用を投じる新図書館建設は5千人ほどの市民に会った中で一人だけ賛成、望んでいないことから建設は中止、見直すこととする。

◆新市長が目指す図書館構想、①費用約5億円規模②旧庁舎跡地に建設しようとしていた新図書館とほぼ同面積、同蔵書数を目指す④補助金（環境省）については断り、見直す図書館は合併債、市の一般財源等で建設費を捻出④場所は市役所庁舎および他公共施設の活用で「身の丈にあった図書館」の建設を目指す。

◆目指す図書館は今後、新たに設置する「検討委員会」で検

討し、市民アンケートを行い市民が要望する図書館を目指す。

【新図書館の建設中止による課題を指摘】

計画していた市役所周辺の社会資本交付金活用事業＝「小原スポーツ広場」、「市役所周辺の電柱の地中化」、「橋梁の耐震化」、「総合市民会館の耐震化」、「新図書館建設」等予定していた。

▼新図書館建設の中止より「都市再生社会資本交付金」6,600万円が宙に浮いている状態が発生している。新市政はその事業の合致策を平成28年度までに決めなければならない。



↑ 旧山梨市庁舎の取り壊しが始まる
跡地の活用が課題

子育て環境整備予算等を市政に反映する

■中学校3年生までの窓口医療費の無料化

市民要望が多かった中学3年生までの窓口医療費を全額無料化。平成26年10月1日目途。

■小中学校へのエアコン設置（竹越市政の継続課題）

平成26年度6月議会に補正予算を提案、順次設置していく。

■山梨市は学力テストの結果は公表しない

小規模校等の地域事情を考慮し学校別成績は公表しない。

■学童保育の延長を目指す

市のアンケート調査で希望者は約3割。延長に向け検討を始める（平成26年度）

■日下部小、北中の通学路安全対策事業予算2100万円余確定

これまで提言してきた日下部公民館前の通学路（拡幅）および花みづき通りから日下部小入りの通学路改修事業が実施される。（平成26年度事業）

■消防団の処遇改善が行なわれる条例の一部改正

退職報償金を最低支給額20万円、他各階級一律5万円引き上げる（平成26年4月から実施）

今後の市政運営、多くの事業課題が山積

厳しい財政見通しが示される中で、いかに市民の要望・負担に応え事業推進をして行くのが今後の課題である。事業のプライオリティー付けなど議会の役割であるチェック機能の強化、政策提言等を引き続き行なっていきます。



★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★

▼2月の大雪で被害にあわれた皆様に「心からお見舞い申し上げます」▼「上野千鶴子先生」講演会（3/18）の中止、撤回問題は全国的に波紋を呼んだ！山日新聞（風林火山）では孔子の論語の言葉「耳順」（人の言葉を素直に聞き、理にかなえば理解できる）それが孔子にして60歳。様々な人の話を聞く姿勢、個人レベル、社会レベルでも成熟の第一歩であると皮肉った。▼市は間違いに気づき中止を撤回したこと当然である。▼市政運営にあたっては常に公明正大⇒大所高所からの運営に期待する▼この5月、6年目に入る中堅議員として、引き続き地域・市政の様々な課題に正面から向き合い「是々非々」で対応していきます。 <http://www.e-masao.net/>